

化学工学会 関東地区学生会
7月東工大企画

討論会「化学工学に関する相互理解」

■ 趣旨：

現在、化学工学に携わっている研究者は多くいるが、その求める本質に対して議論が行われている。その一つの要因として、化学工学は他の工学とは異なり、複雑化に富んだ学問であるからということができよう。

本企画では、現在化学工学を学ぶ学生の観点から、化学工学に対する意義・漠然としての意味を理解し、相互的に価値観を共有し啓発することを目的とする。将来社会に出るにあたり、自分のバックグラウンドである化学工学がどういうスタンスであるのかという理解を深めようというものであり、自分にとって化学工学とは何か、どう利用しているか、将来どう役立てていくかを改めて考えて頂き、自分の中で整理して頂きたいと考えている。

そのために、事前に学生の立場から見た化学工学の知見をアンケートに基づいて集計することにより、これを基にディスカッションを行う。

■ 日程：

2006年7月29日 15:00 – 17:00

14:30 集合 東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館⑦（正門）前
東急大井町線／目黒線 大岡山駅 下車一分

15:00 – 17:00 企画：ディスカッション
南一号館⑩前

17:00 – 19:00 懇親会
予算：¥3,000-

東京工業大学大岡山キャンパス



■ 費用：

※ 集合時に徴収したいと考えています。大学毎に取りまとめて頂けると幸いです。

以上